

西日本電線株式会社

西日本電線を訪問して、長時間労働削減や女性活躍推進への取組等についてご説明をいただきました。



④ 金井代表取締役社長へ小笠原労働局長から要請書をお渡ししました。

- * 職員数：268人（男性240人、女性28人）
- * 事業内容：電線・ケーブルの製造販売等

■ 日時：平成29年6月14日（水）

■ 訪問者：大分労働局長
大分労働局 雇用環境・均等室
雇用環境改善・均等推進監理官

小笠原 清 美

吉 野 栄 次

- 面談者：西日本電線(株)
代表取締役社長 金井俊英氏
理事 管理部長 CSR 推進室長 猿渡康裕氏
管理部総務・人事グループ長 大城典子氏

■ 説明いただいた主な内容

● 長時間労働削減や年休取得促進の取組

- ① 補助管理部門で部門ごとにノー残業デー実施
- ② 勤休管理システムにより時間外が一定の基準を超えた時に警告メールを発信（30 時間、50 時間、4.5 時間／日）
- ③ バースデー休暇推奨、一斉有休 3 日／年など

● 女性活躍推進のための取組み

【目標】 計画期間内に技術系の採用応募者のうち女性技術者の割合が 20%となる様にする。

（取組）⇒ 企業説明会において技術職女性社員が出席し、育児・介護に関する休業制度や短時間勤務制度など働きやすい就業環境をアピール

【目標】 育児・介護と女性の活躍が両立できる社内風土の醸成

（取組）⇒ 計画期間後の育児短時間勤務取得者の倍増・介護短時間勤務の利用拡大、特に残業が多い製造職・技術職については、10 時間の残業減を図る。

⇒ 社内の業務多能工化を推進

【目標】 女性の管理職昇進に対する意識を高める。

（取組）⇒ 職種転換制度を周知し意欲のある社員の活躍を促進

● その他

- ① 各部門におけるマルチスキル化の推進で特定の個人への負担集中を削減
- ② 避難タワーを兼ねた食堂・事務所棟の建設

<労働局よりひとこと>

全社員の 9 割近くを男性が占める中、女性が活躍できる労働環境を整備するため、女性技術者の応募割合を 20%にする具体的な数値目標を設定し、企業説明会への女性技術者の派遣などに取り組まれています。

今後、育児短時間勤務取得者の倍増・介護短時間勤務の利用促進などと併せて、その成果が期待されるところです。